

佐賀空港 オスプレイ配備計画

問答無用の押し付けやめ、撤回せよ

仁比聡平参院議員が安倍首相を追及



日本共産党の仁比聡平議員は2月5日の参院予算委員会会で、オスプレイの佐賀空港配備問題で、政府が同空港の歴史的経緯や、県と地元との間の合意事項を無視して計画を進めていることを指摘し、「地元の声をふみにじって問答無用で押しつける安倍政権の強権姿勢は絶対に許されないと、計画撤回を求めました。質問の要旨を紹介します。

日本共産党

「自衛隊との共用はしない」とした「協定書」も知らずに要請
空港周辺は日本一のノリ漁場。「協定書」は、佐賀空港の存立に関わる重い約束

安倍政権は、陸上自衛隊に導入するオスプレイ17機を佐賀空港に配備し、目達原駐屯地の戦闘ヘリなど50機の部隊を移駐、さらに米海兵隊に佐賀空港を利用させることも視野に入れています。仁比議員は、方針どおりに配備されれば、民間空港が佐世保を始め各地の基地と連携して南西諸島とアジアをにらむ軍事拠点に一変することになると厳しく批判。空港建設で県と漁民との間に交わされた、「自衛隊との共用はしない」との覚書付属資料のついた「公害防止協定書」を示して政府の認識をただしました。

○中谷元防衛大臣
(昨年7月に)武田防衛副大臣が申し入れを行った際。

●仁比議員 空港建設の歴史、地元住民や漁民との重い約束も知らぬまま配備計画を決めたのか。

●仁比議員 佐賀空港の存立に関わる問題。公害防止協定書自体を防衛省が知ったのはいつか。

「当時の約束は反故にできない」との市長の意思を無視するのか (仁比議員)
現時点では地元の理解は得られてない (安倍首相)

「ない」と答弁 (昨年12月市議会) していることも示して、安倍首相に迫りました。

●仁比議員 この声、市長の意思を無視してここを進めるのか。

○安倍晋三首相 現時点で地元の理解は得られてないと考えている。安全保障上の重要性を踏まえ、丁寧な説明を続けていく。

仁比議員は、空港の計画が持ち上がった69年以来的の漁業者・住民のたたかいはを経て、苦渋の判断で「協定」が締結されたと指摘。2010年に普天間基地の移転先として佐賀空港が挙がった時に全会一致であげられた県議会の反対決議でも、この協定書が根拠になったことを強調。決議では「元々『県は佐賀空港を自衛隊と共用する考えを持っていない』と明記した覚書があり、軍事利用が不可能なことは明らかである。」と述べています。佐賀市長が「当時の約束を反故にするわけにいか

米海兵隊による訓練移転による使用を想定 (中谷大臣)
新知事も「佐賀のことは佐賀で決める」「白紙」を表明。佐賀空港の軍事利用計画は白紙撤回せよ (仁比議員)

権の全面支援を受けた候補者が敗北し、「佐賀のことは佐賀で決める」と訴えた新知事が「全くの白紙」と計画を再検証する方針を示していることを指摘。予算案に盛り込んだオスプレイ5機(516億円)、施設整備費等(106億円)の経費をはじめ、地元の理解を無視した問答無用の配備計画は「白紙撤回すべきだ」と迫りました。

○安倍首相 新知事が誕生したわけで、丁寧にしっかりと説明していく。

●仁比議員 声を踏みにじって問答無用に押し付ける、そんな強権的姿勢は絶対に許されないと

仁比議員は、「丁寧な説明」どころか、「協定」の無視に加え、沖縄の米海兵隊オスプレイの佐賀空港利用でも、政府説明が毎回違うことを批判。防衛相は「現時点においては訓練移転のための使用を想定している」と答弁しました。

米軍オスプレイの佐賀空港の利用—政府方針—

- 暫定的に辺野古が完成するまでの間、佐賀空港を利用させていただくことも考えております。 2014年7月22日 武田防衛副大臣発言
- 「日本政府から何ら公式な要請を受けていない」 2014年7月23日 米国防総省当局者(時事通信)
- 米軍が使っておりますオスプレイの本土での訓練移転をする場合の拠点としての活用についても、その検討についてお願いを今後ともしていきたいと思っております。 2014年8月25日 小寺防衛大臣会見
- 米海兵隊による佐賀空港の利用については、現在、米側と相談中 「防衛省予算の概要 2015年1月17日」